

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 テーマ (主題)

自己を拓き 広げよう とともに生きる力

目 的

- 本校の教育の目標「自己を拓き、ともに生きる児童の育成」の具現化を図るため、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 地域のものや人材を生かした福祉教育・防災教育・環境教育などの教育活動を基盤として、自己の可能性に挑戦し、地域を愛する心を育む。
- 地域を超えて年齢や個性の異なる人や環境と豊かに関わる体験の場を充実し、共感する心や未来を見通し、ともによりよく生きる力を育てる。

活動内容

- 学年園、学校農園等での野菜やバケツ稲等の栽培活動 (各学年、ボランティア講師)
- 竹とんぼづくり教室 (3・4年、ボランティア講師)
- 紙飛行機づくり教室 (1・2年、ボランティア講師)
- ふれあい給食 (地域のお世話になっている方々を各クラスにご招待)
- わかっ子集会 (お年寄り・ボランティア講師をご招待「案内状」(縦割り班で作成)を送付)
- 若宮ふれあい大運動会 (学校、PTA、地域、公民館合同開催)
- わかっ子クリーン大作戦 (縦割り班、公民館、地域合同で校区の清掃活動)
- 独居老人宅訪問 (文化祭時、お赤飯と手紙をもって4・5・6年生が訪問)
- 地域のお年寄りへの「暑中見舞い」「年賀状」送付 (4・5・6年生)
- 若宮保育園児との交流学習 (全)
- 校区にあるデイケア施設「ひだまりの里」でのお年寄りとの交流 (4年)
- 新居浜総合福祉センターでの学習 (4年)
- 広瀬邸、広瀬歴史記念館、別子銅山記念館など新居浜の歴史的・文化的な施設の見学 (4年)
- 防災まちあるき (3年)、地震・津波が来たら (4年)、合同避難訓練 (全)

2 主な活動について

【3年生 「防災まちあるき」

(ねらい)

- ・ 校区内の防災施設を訪ねながら、校区の災害の歴史や、防災活動について学び、自助・共助・公助の精神を培う。
- ・ 地域の方々に支えられ守られて、自分たちの生活が成り立っていることに気づき、自らが社会の一員として社会に貢献しようとする態度を養う。
- ・ 地域の方々との触れ合いを通じて地域を愛し、地域に感謝する心を育てる。

(活動の実際)

12月4日に、3年生児童11名が地域の自主防災会、公民館の方々、ESD教育(防災教育)について学んでいる鳴門教育大学生とともに、雨水排水ポンプ場や消火栓、砂防ダム、防災倉庫などの、校区の防災施設を歩いて見学した。



(防災まちあるきの様子)

【3・4年生 「竹とんぼ教室」】

(ねらい)

- ・ 地域の人たちと我が国の伝統的な文化の「竹とんぼづくり」をしながら、ともに楽しい時間を過ごすことにより、地域の人たちとの交流を深める。

(活動の実際)

9月17日に、3・4年生が六つの縦割り班に分かれて、地域のボランティア講師、保護者、公民館の方々に教えてもらいながら、竹とんぼづくりを行った。子どもの頃の遊びや学校の様子などの話を聞いたり、子どもたちが、自分がかんばっていることを話したりしながら、交流を深めることができた。



(竹とんぼ教室の様子)

3 成果と課題

- ・ 地域の災害の歴史や、防災活動について学び、防災教育に積極的に取り組むことにより、地域の方々に支えられ守られて、自分たちの生活が成り立っているということを知り、ふるさとを大切に作る心などを育むことができた。
- ・ 地域の方と交流することによって、コミュニケーション力やともによりよく生きる力を育むことができた。また、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進することができた。
- ・ 縦割り班で活動することにより、異学年齢集団での仲間意識の向上に繋がった。
- ・ 地域ボランティアの方の高齢化により、人材確保が難しいことと、児童数の激減に伴い、行事を精選し見直していかなければならないことが課題である。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()